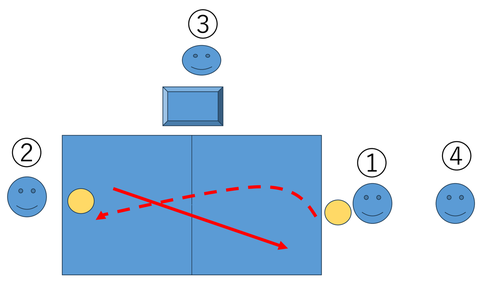
学習の展開

学校番号：３	学校名：岐阜県立長良高等学校	指導者名：大矢　尚巨	９月１９日（木）３限・５時間目／１８時間
クラス：２年男女（４０名）	場所：体育館	科目：体育	領域名：球技（ネット型）卓球
準備する物：ラケット、ボール、ICT端末、プロジェクター、生徒用タブレット、卓球台			
本時の指導 （学習目標）	・ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートへ打ち込むことができる。【技能①】 ・選択した運動について合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。【思考・判断・表現①】		
本時の手立て	・見本動画を常時流し、正しいフォームを確認させる。 ・ICT（タブレット）で自己や仲間のフォームを撮影しフォームの確認をさせる。 ・ICT（タブレット）で撮影した映像を活用し、仲間同士で課題を発見させ、解決に向けて話し合いをさせる。		
クラス観	・意欲の高い生徒が多く練習だけではなく、行動も早く積極的に取り組むことができる。 ・仲間と協働できる生徒が多く、課題解決しようと前向きに取り組める雰囲気がある。		

	学習内容	学習活動	指導上の留意点	学習形態	評価規準（評価方法）
導入 ５分	○集合・挨拶 ○出欠確認 ○準備運動 ○本時の説明	○姿勢正しく挨拶する。 ○体育委員は、欠席者を報告する。 ○体操、補強運動を行う。 ○本時の目標を確認する。 ○投影し正しいフォームを確認する。 ICT活用	○迅速に集合させ、基準に合わせて縦・横を揃えさせる。 ○欠席者の有無、生徒の健康状態を把握する。 ○各部位をしっかり動かすことを意識させる。 ○本時の目標及び学習内容を理解させる。 ○見本の映像を活用して正しいフォームのポイントを説明する。	一斉	
展開 ３５分	【ねらい①】 ・ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手コートへ打ち込む。 【発問①】 ネットより高い位置から相手コートに打ち込むための正しいスイングフォームとは？ 【ポイント】 ・ボールをバウンドの頂点でとらえる。 ・ラケットの角度は75°程度にする。 ・おなかの横あたりから顔の前までラケットを持ってくる。 【ねらい②】 ・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 【発問②】 撮影した映像を分析して、仲間や自己の成果や課題とその理由を伝えよう。 【ポイント】 ・撮影した映像と見本動画を比較して成果や課題とその理由を分析する。 ・分析した成果や課題とその理由を仲間に伝える。				
	○前時までの復習 ○ストローク練習 ○フォーム確認 ○試しのチャンピオンゲーム	○フォアハンドラリー ○手出し多球練習  ○動画を分析し、フォームの成果や課題を仲間に伝える。【思考・判断・表現①】 ○正しい見本動画やポイントと比較し課題を発見する。 ICT活用 ○フォームの確認で発見した課題を意識してゲーム形式を行う。	○ウォーミングアップも兼ねてフォームの確認を行わせる。 ○ストロークのポイント伝えながら、一人一人見て回る。 ○正しいフォームのポイントを意識させる。 ○役割分担をし、グループで協力して行わせる。 ○ボールを投げる人①→打つ人②→動画を撮影する人③→ボールを拾う人④のローテーションさせる。 ○ストローク練習後、動画撮影者と動画を確認する。 ○正しいフォームのポイントを意識させ動画を分析させる。 ○グループで積極的に仲間の課題を話合わせる。 ○正しいフォームのポイントを伝えながら、生徒一人一人を観察する。 ○上手くいかない生徒や困っている生徒に助言する。	一斉 グループ 一斉	【思考・判断・表現①】 選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 A：動画を分析して成果や課題を具体的な理由で伝えている。 B：動画を分析して成果や課題を伝えている。 C：動画を分析して成果や課題を伝えることができない。
まとめ ５分	○本時の振り返り ○次時の内容の確認	○本時の活動を振り返り、成果と課題を理解する。 ○次時の課題を理解する。	○本時の課題が達成できたか確認をする。 ○良いプレーがあったら全体で共有する。 ○次時の説明をし、理解させる。	一斉	